

中東のエネルギー問題について



2026 年 3 月現在、アメリカとイランの軍事衝突でホルムズ海峡が実質封鎖され、日本だけでなく世界的に原油供給は極めて深刻な危機に直面しています。

身近なところであれば、ガソリンスタンドで価格が一気に上昇し、すでに生活にも大きな影響が出ています。

原油価格が上昇すると、経済にも広範な悪影響が出るのが必至で、物価高、株価の下落と円安が忍び寄ります。

日本では石油備蓄に対して、過去最大規模の備蓄の放出が開始され、今後の燃料供給の先行が不透明な状況となっています。

社用車のガソリンは、常に満タンにしておくなどの対策を今一度、確認しておくことをおすすめします。



ヘリ合同訓練に参加いたしました。

3 月 7 日（土）にお取引先様のヘリ合同訓練に参加させて頂きました。今回の訓練は南海トラフ地震発生時における現地での迅速かつ的確な対応力の向上とヘリコプターの離着陸が同施設にて可能かどうかの確認を目的として行われました。

被災現場ではヘリコプターによって上空から得た情報を地上部隊と連携することで、より効率的な活動が可能になることを実感したとともに、大規模災害において組織間の連携がいかに重要であるかを強く感じました。また、当社がその一助となれるよう災害現場での実効性の向上に努めて参ります。

専門家に聞く

今回のアメリカとイラクの軍事衝突によるエネルギー問題は、一種の社会災害といえます。そして、いつ収束するのか見当がつかないという点が、各社の対応を非常に困難にしています。しかし、自然災害においても、南海トラフの地震が半割れ状態（東や西の半分だけで地震が発生しており続く大地震の発生が予見される事態）になった場合も、同様にいつまでの対応が必要となるか見当のつかない事態といえるでしょう。つまり、今回の対応は、今後の災害対応への教訓となり、決して無駄にはなりません。皆で工夫し、のりきりしましょう。（関西大学社会安全学部 教授 一井 康二）



「総合防災・減災企業」として命をつなぐサービスを増進する



日本BCP株式会社

【東京本社】〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 48 番地 ism 神田 2 階
TEL:03-5289-0223/FAX:03-5289-0235
【大阪本部】〒599-8235 大阪府堺市中央区深井東町 3099 番地
TEL:072-230-5888/FAX:072-230-5887

お問合せはこちら

